



潜在景を呼び覚ます —祭礼空間の顕在化による勝浦の風土再生—

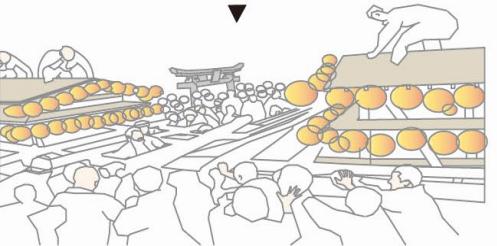
潜在化している土地の魅力をもう一度近くで感じると共に勝浦が繁栄していくための製氷工場と漁港空間の提案を行う。勝浦の結節点となる、この敷地に都市・海・人・生業のつながりが密接に感じる空間を表現する。祭礼空間の重要性を定義し、顕在化する古くからの伝統・風土を「ハレ」の空間で表出させる。日常では、漁師、工場労働者、住民に対してヒラキ空間となり落ち着きや憩い、命のやりとり、漁師の生活を体感できる空間を提供する。非日常では神に対してヒラキ、賑わいの空間、幻想的な祝祭景を創出する。

01 潜在した人間関係・都市空間

祭礼空間で顕れる関係性



日常の住民特性



祭礼時において人が団結し一つになって神に祈願する。祭礼時に顕在する人間関係こそが人同士の本来のあるべきカタチだと考える。現在は「希薄化」が進み、本来の人間関係が潜在化している。

顕れる空間の変貌



ケの漁港



ハレの漁港

日常と非日常で漁港空間。大きな機械や船、魚、漁師、工場労働者がメインとなるケの空間と神、住人、観光客、神輿、装飾などがメインとなるハレの空間。祭礼時において空間の使われ方が変貌する。

02 対象敷地 千葉県勝浦市浜勝浦沿岸部



海と山に囲まれ自然景観を身近に感じることができる。沿岸部に工場地帯が立ち並び、都市と海の関係に隔たりができてしまう。そこで、祭礼時に顕在する勝浦本来の魅力に沿って提案し日常では「漁師・工場労働者の生活」、「命のやりとり」を、非日常では「海の神様」をより強く感じることができる空間を生み出す。

勝浦大漁祭り



海入り・舟渡しをメインとした祭り。7つの区から神輿と山車が集まり「合同祭」となる。都市を巡行し、勝浦を知ると共に日常では顕れない勝浦らしさが顕在化する。

勝浦朝市



430年以上も開催されている日本三大朝市の一つの勝浦朝市。鮮魚や山菜など、多くの勝浦の幸が販売される。月の半分で開催される場所が変わり街の景観も変化する。

03-1 勝浦の抱える課題

勝浦の成り立ち



江戸：鳥居→海→漁村→山→神社



現代：鳥居→海→工場→都市→山→神社



提案：鳥居→海→工場漁港市場→漁村→山→神社

江戸時代では海と漁村が続いているため漁師などの生業にとらわれず住民が勝浦の土地における「**漁の重要性**」を直に五感で感じ取れる。

現代では、行政による都市の機能性向上のため工場が建てられた。しかし、それは**本来の都市の魅力**を潜在化させ、漁師や工場労働者、競り関係者が主体の空間になってしまった。

都市の景観、海・山とのつながりを潜在化せず、**住民の生活を支えている製氷・加工**という機能は残しつつも、周辺空間の操作で漁師・工場労働者・住民のための「**ケ**」の空間を向上させる**提案**をする。



江戸時代の漁港



現代の漁港



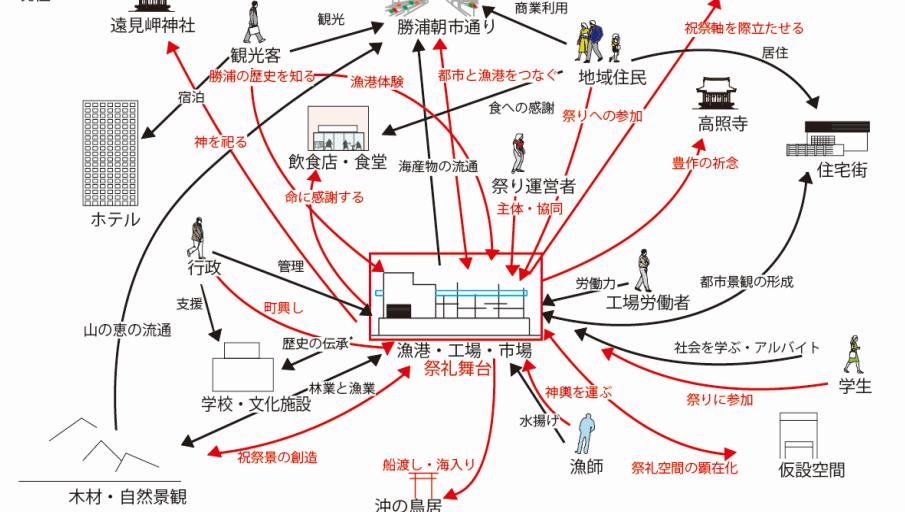
提案する漁港

03-2 勝浦相関図

勝浦の抱える問題

祭礼時 →

現在 →



勝浦の住民特性と観光客との、都市機能の関係性を図式化する。提案によってどう変わるのかを顕し、**日常と非日常の「結節点」**となる漁港に製氷工場と漁師・住民のための建築を行う。

03-3 勝浦の分解

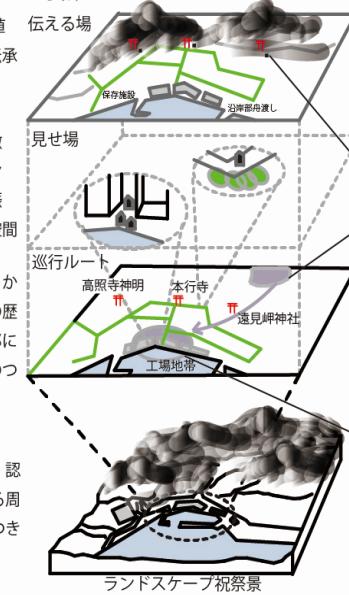
結節点に顕すハレ要素

祭りの技術や価値 伝える場
・土地の歴史を伝承する空間

神輿や山車の特徴的なパフォーマンスと人間同士の賑わいが顕在する空間

都市の巡行ルートから抽出した勝浦の歴史的特徴を沿岸部に顕在させ都市とのつながりを創出

祭礼時に視覚的・認識的に顕在化する周辺空間との結びつき



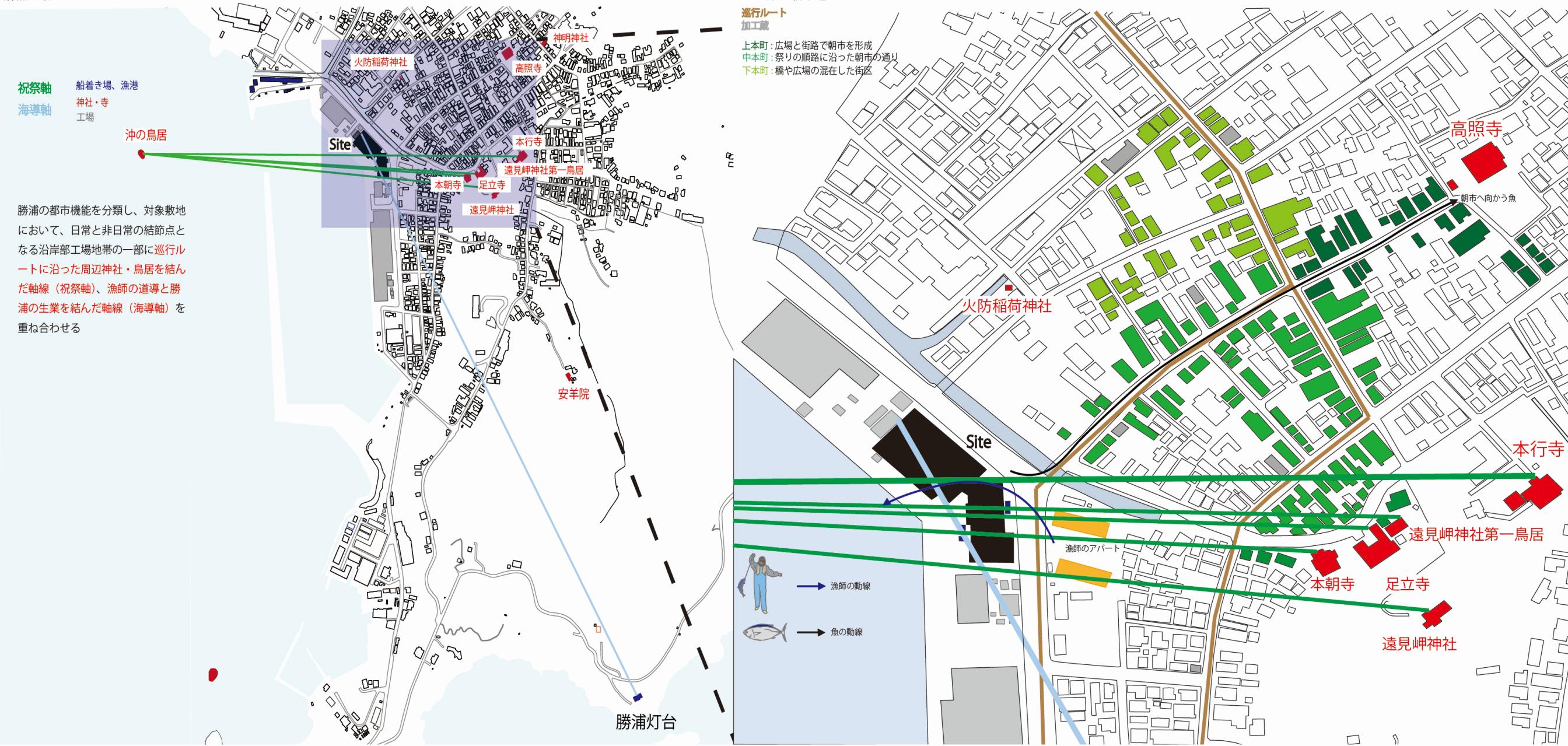
神輿保管場所
地域内外のコミュニティ空間



沿岸部都市空間 (ハレ)

04 祝祭軸・海導軸を通す

勝浦全貌



祝祭軸
海導軸

船着き場、漁港
神社・寺
工場

勝浦の都市機能を分類し、対象敷地において、日常と非日常の結節点となる沿岸部工場地帯の一部に**巡行ルート**に沿った周辺神社・鳥居を結んだ軸線(祝祭軸)、漁師の道導と勝浦の生業を結んだ軸線(海導軸)を重ね合わせる

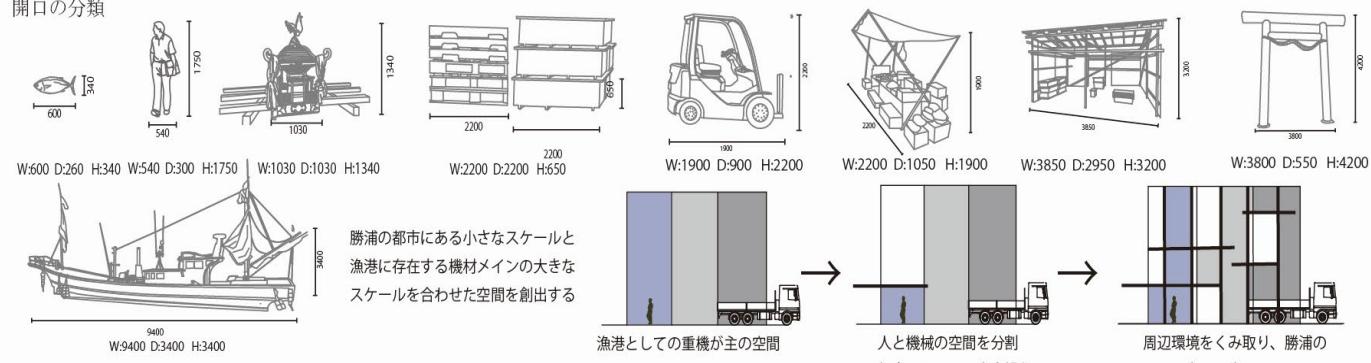
加工蔵・朝市通り
巡行ルート
加工蔵
上本町：広場と街路で朝市を形成
中本町：祭りの順路に沿った朝市の通り
下本町：橋や広場の混在した街区

漁師の動線
魚の動線

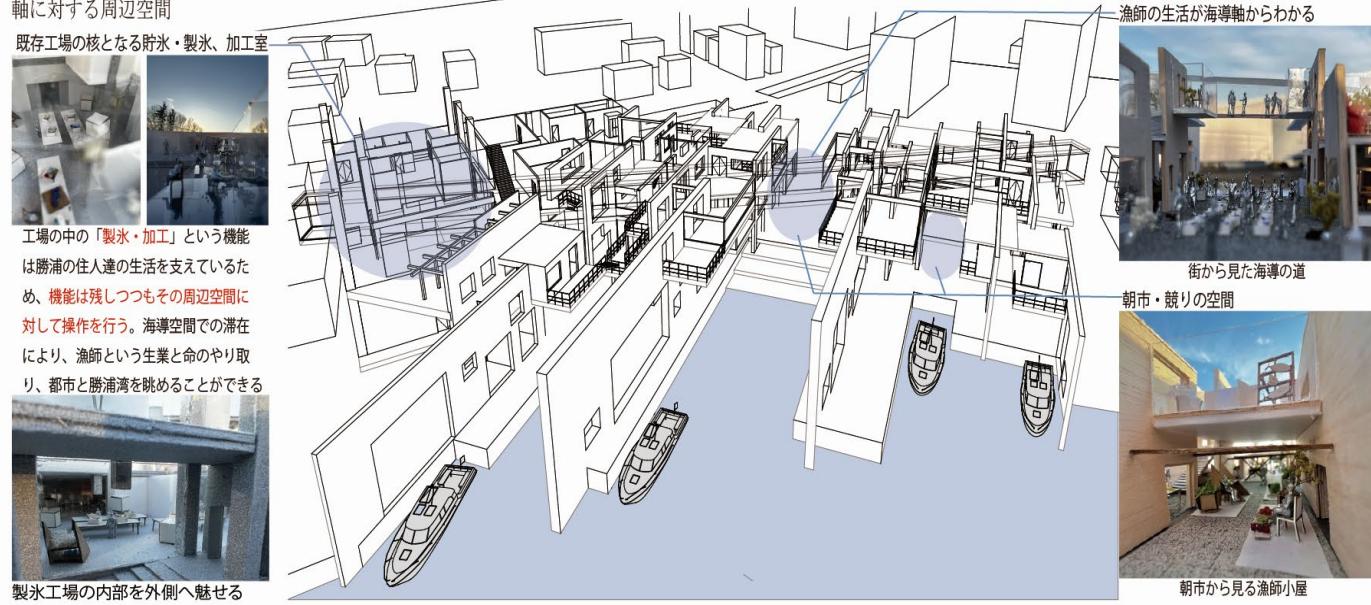
05 勝浦の都市のスケールと素材



06 開口の種類と配置位置

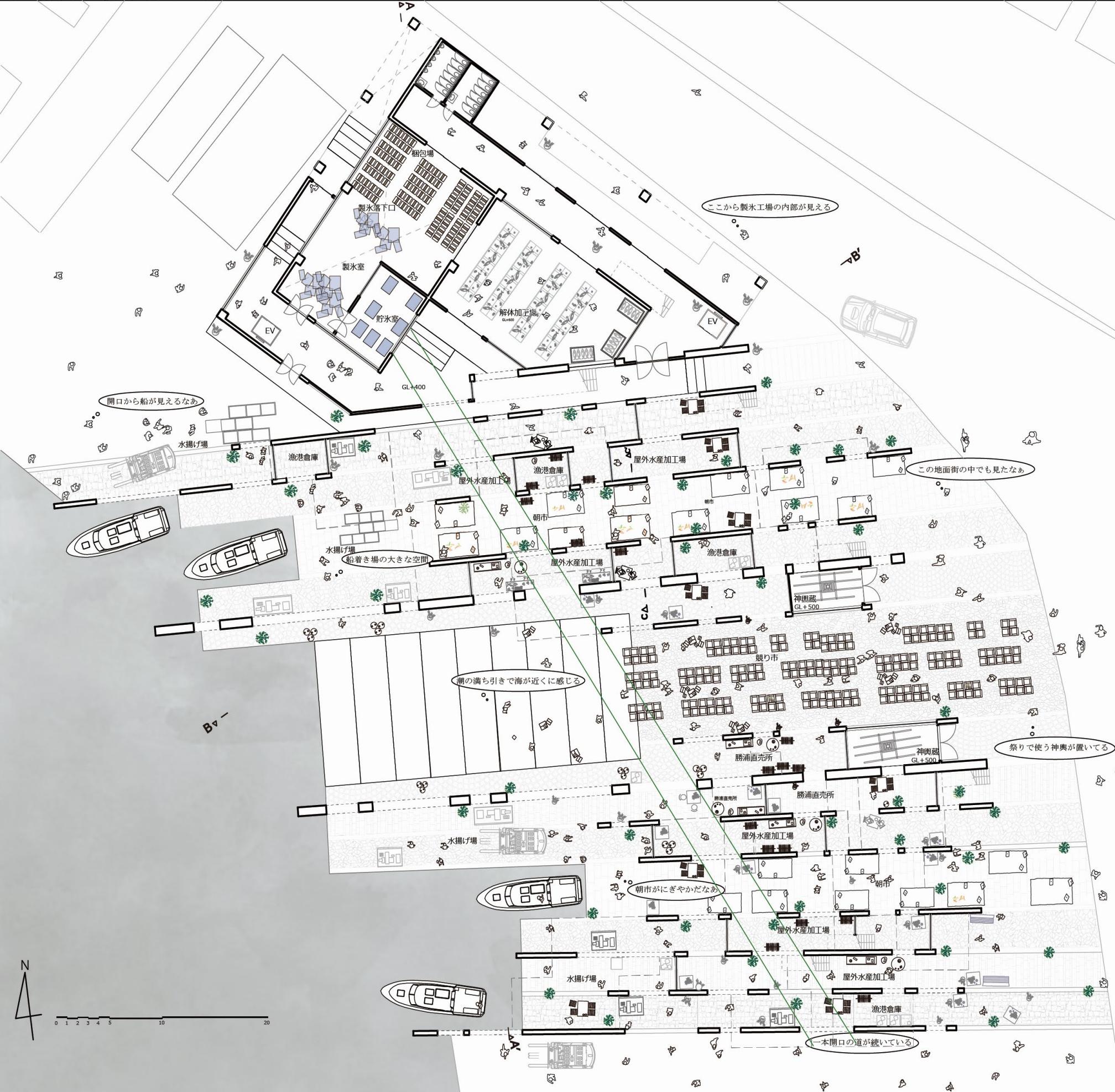


07 勝浦に顕在化させる



08 A-A' 断面図 S=1/500





高さを抑え自然景・祝祭景を創造する



ケの漁港



ハレの漁港



船から水揚げする大きな空間



勝浦の街の朝市のスケールを漁港に引き込む



小さな漁師小屋のスケールの集積で漁師の日常を住民に体感させる



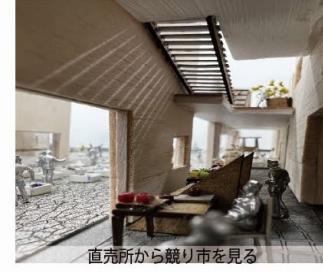
ハレとケで変貌する賑りの場



船から見上げる海邊空間



開口から魅せる漁師小屋



直売所から朝市を見る



漁師小屋から見る朝市



干潮時の自然景



満潮時の自然景